



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーグループ株式会社

コード番号 8050

URL https://www.seiko.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日

配当支払開始予定日 2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	276,807	6.3	14,737	31.2	15,894	42.3	10,051	99.9
2023年3月期	260,504	9.7	11,233	28.1	11,167	12.4	5,028	△21.6

(注) 包括利益 2024年3月期 24,158百万円( 92.1%) 2023年3月期 12,576百万円( 5.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	244.33	—	7.2	4.3	5.3
2023年3月期	121.86	121.86	4.0	3.3	4.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 1,389百万円 2023年3月期 1,224百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	376,262	151,334	39.6	3,657.61
2023年3月期	355,915	131,748	36.5	3,144.81

(参考) 自己資本 2024年3月期 149,100百万円 2023年3月期 129,792百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	32,726	△15,095	△23,017	32,683
2023年3月期	9,261	△15,535	10,564	36,209

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00	3,100	61.5	2.5
2024年3月期	—	37.50	—	42.50	80.00	3,307	32.7	2.4
2025年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00		33.4	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	300,000	8.4	17,000	15.3	17,000	7.0	11,000	9.4	円 銭 269.84

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
 新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）— : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	41,404,261株	2023年3月期	41,404,261株
② 期末自己株式数	2024年3月期	639,870株	2023年3月期	132,337株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	41,136,994株	2023年3月期	41,262,123株

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	15,220	△0.6	724	△39.4	1,477	△5.3	3,601	40.6
2023年3月期	15,312	27.1	1,195	—	1,560	—	2,562	△21.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	87.50		—					
2023年3月期	62.06		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	202,287		63,068		31.2		1,546.34	
2023年3月期	201,299		57,534		28.6		1,393.32	

(参考) 自己資本 2024年3月期 63,068百万円 2023年3月期 57,534百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 5
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	P. 6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 8
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(セグメント情報)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 15
(重要な後発事象)	P. 15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

2024年3月期の世界経済は、高インフレが継続する中で金融引き締め状況が継続しており、米国は減速懸念がある中で消費を中心に堅調に推移しているものの、欧州は物価高騰が続く中で消費などが弱く回復は足踏み状態です。また、中国は小売や生産が緩やかに回復しているものの、不動産市場の調整などでゼロコロナ政策撤廃後の持ち直しが鈍化しています。

わが国の経済は、インフレ下で個人消費が懸念されるものの全般的には回復基調にあり、またインバウンド需要はコロナ禍前の水準まで回復してきております。

(単位：百万円)

	2022年3月期 (a)	2023年3月期 (b)	2024年3月期 ①	前々年度 増減 ①－(a)	前年度 増減 ①－(b)
売上高	237,382	260,504	276,807	39,424	16,302
営業利益	8,770	11,233	14,737	5,967	3,504
%	3.7%	4.3%	5.3%	1.6pt	1.0pt
経常利益	9,939	11,167	15,894	5,955	4,726
%	4.2%	4.3%	5.7%	1.5pt	1.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,415	5,028	10,051	3,635	5,022
%	2.7%	1.9%	3.6%	0.9pt	1.7pt
換算レート					
USD (円)	112.4	135.5	144.7	32.3	9.2
EUR (円)	130.6	141.0	156.8	26.2	15.8

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウオッチ事業、和光事業がインバウンド需要を背景に大きく売上を伸ばし、海外市場向けのウオッチ事業も欧州、アジア地域で伸長して、売上高は前年度を上回りました。デバイスソリューション事業は、中国経済停滞の長期化やデバイス領域全般における在庫調整など事業環境が低迷する中で、売上高は前年度を大きく下回ったものの、一部製品で需要回復の兆しが見えます。システムソリューション事業は多角化やストックビジネス拡大への取組みが引き続き奏功して、前年度を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、2,768億円（前年度比6.3%増）となりました。

連結全体の国内売上高は1,474億円（同11.2%増）、海外売上高は1,293億円（同1.1%増）となり、海外売上高割合は46.7%でした。

当連結会計年度の広告宣伝販促費は前年度に対して約10%増加し、販売費及び一般管理費は前年度から73億円の増加となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業が牽引し、前年度から35億円改善の147億円（同31.2%増）となりました。営業外収支は、受取利息や受取配当金の増加等により前年度から12億円改善し、経常利益は前年度を47億円上回る158億円（同42.3%増）となりました。特別損益は、特別利益として固定資産売却益など15億円、特別損失として事業構造改善費用、減損損失、情報セキュリティ対策費など合わせて23億円を計上しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、国内事業会社の収益改善に伴い法人税等調整額が減少したことなどにより、100億円（同99.9%増）となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは1米ドル144.7円、1ユーロ156.8円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業 (EVS事業)

EVS事業の売上高は前年度比175億円増加の1,883億円 (前年度比10.3%増) となりました。

国内のウォッチは、コロナ禍からの回復が進んだことで回復基調となり、さらにインバウンドの好影響も受け「グランドセイコー」、「セイコープロスペックス」を中心に前年度から大きく売上高を伸ばしました。また海外でも、「セイコープレザージュ」、「セイコー5スポーツ」などが伸長し、売上高は前年度から増加しました。ウォッチムーブメントの外販ビジネスは、中国経済低迷の影響を受けたものの、為替の影響もあり、売上高は前年並みとなりました。

和光事業は、好調なインバウンド需要を背景に前年度と比べ大きく伸長しました。また、クロック事業は、海外向けで中国経済の低迷を受けるなどの影響で減少しましたが、タイムシステム事業は伸長しました。

売上高の増加、売上総利益率の改善等により、営業利益は前年度から56億円増加し172億円 (同49.1%増) となりました。

② デバイスソリューション事業 (DS事業)

DS事業は売上高583億円 (前年度比9.5%減)、営業利益21億円 (同58.1%減) となりました。

中国経済停滞長期化や電子デバイス市場での在庫調整が継続している影響により、サーマルプリンタを始め、半導体製造装置向けの高機能金属、精密部品等が低迷し、前年度から大幅な減収減益となりましたが、酸化銀電池や水晶など一部の事業で調整局面から回復傾向にあります。

③ システムソリューション事業 (SS事業)

SS事業の売上高は前年度比38億円増加の404億円 (前年度比10.5%増)、営業利益は前年度比3億円増加の47億円 (同8.0%増) となりました。

継続したデジタル需要拡大の追い風もあり、性能管理・セキュリティ関連ビジネスなどデジタルインフラを支える事業や、電子契約等の業務プロセスDX化ソリューションが業務拡大を牽引し、32四半期連続で対前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は3,762億円となり、前連結会計年度末に比べて、為替による影響も含め203億円の増加となりました。流動資産では、売掛金が59億円増加しましたが、現金及び預金が36億円、未収入金が21億円減少したことなどにより、流動資産合計は前連結会計年度末より12億円増加の1,746億円となりました。固定資産では、有形固定資産が48億円、無形固定資産が26億円、投資その他の資産が115億円増加したことから、固定資産合計は前連結会計年度末と比べ190億円増加の2,015億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が82億円、長期借入金が58億円減少したことで借入金合計は1,177億円となりました。その他、支払手形及び買掛金が27億円、未払金が39億円、未払法人税等が28億円、繰延税金負債が26億円増加したことなどにより、負債合計は前連結会計年度末と比べ、為替による影響も含め7億円増加の2,249億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が56億円、その他有価証券評価差額金が63億円、為替換算調整勘定が76億円増加したことなどから、合計でも前連結会計年度末と比べ195億円増加の1,513億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高は326億円となり、前連結会計年度末と比べて35億円の減少となりました。また、営業活動および投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは176億円となりました。

これは主に以下の要因によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が151億円となり、減価償却費133億円を加え、棚卸資産の増減額37億円、仕入債務の増減額38億円等の調整を行った結果、327億円のプラス（前年度は92億円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出△110億円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△24億円等を計上した結果、150億円のマイナス（前年度は155億円のマイナス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済および借入がネットで△156億円、リース債務の返済による支出△23億円、配当金の支払額△31億円等があり230億円のマイナス（前年度は105億円のプラス）となりました。

(4) 今後の見通し

2025年3月期において、EVS事業のウオッチ事業、和光事業やSS事業については引き続き堅調に推移し、また、DS事業については回復の見通しであることから、2025年3月期の通期業績見通しは以下の通りといたします。

なお、業績予想の前提となる2025年3月期の為替レートは1米ドル140.0円、1ユーロ150.0円を想定していません。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当期実績(A)	276,807	14,737	15,894	10,051	244.33
業績予想(B)	300,000	17,000	17,000	11,000	269.84
増減額(B-A)	23,192	2,262	1,105	948	25.51
増減率(%)	8.4	15.3	7.0	9.4	10.4

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高	営業利益
エモーショナルバリューソリューション事業	1,960	190
デバイスソリューション事業	635	30
システムソリューション事業	505	58
事業別合計	3,100	278
その他	10	1
連結合計	3,000	170

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

利益配分につきましては、経営基盤強化のための内部留保の充実と、株主への安定的な利益配分を重視することを基本方針としております。また、当社は株主への主要な利益還元施策を配当による還元とし、連結配当性向30%以上とします。

来期の配当予想については、本日公表しました通り、来期の連結業績予想が当期の連結業績を上回る見込みであることから、当期の期末配当金である42.5円から2.5円増額し、中間配当金、期末配当金とも45.0円といたします。これに伴い来期の年間配当金は1株当たり90円となり、当期から10円の増配となります。

【配当予想】

基準日	年間配当			配当性向
	第2四半期末	期末	合計(年間)	
前期実績 (2023年3月期)	37円50銭	37円50銭	75円00銭	61.5%
当期実績 (2024年3月期)	37円50銭	42円50銭	80円00銭	32.7%
今回予想 (2025年3月期)	45円00銭	45円00銭	90円00銭	33.4%

※上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性の確保および国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,324	32,683
受取手形	3,062	3,479
売掛金	35,187	41,136
契約資産	397	880
商品及び製品	49,750	49,683
仕掛品	18,117	18,716
原材料及び貯蔵品	15,908	15,983
未収入金	6,577	4,377
その他	9,381	9,173
貸倒引当金	△1,297	△1,419
流動資産合計	173,410	174,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,280	82,230
機械装置及び運搬具	86,117	91,948
工具、器具及び備品	39,233	42,617
その他	12,699	15,609
減価償却累計額	△163,232	△172,067
土地	54,182	54,144
建設仮勘定	2,867	1,553
有形固定資産合計	111,149	116,037
無形固定資産		
のれん	6,901	8,029
その他	8,620	10,159
無形固定資産合計	15,522	18,189
投資その他の資産		
投資有価証券	45,490	56,374
退職給付に係る資産	1,820	1,884
繰延税金資産	1,923	1,984
その他	6,752	7,247
貸倒引当金	△153	△148
投資その他の資産合計	55,833	67,341
固定資産合計	182,505	201,568
資産合計	355,915	376,262



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,790	21,500
電子記録債務	6,212	8,085
短期借入金	72,598	64,350
1年内償還予定の社債	300	-
1年内返済予定の長期借入金	22,117	21,727
未払金	11,344	15,291
未払法人税等	1,793	4,678
契約負債	7,916	8,760
賞与引当金	4,879	5,097
商品保証引当金	488	552
賃借契約損失引当金	348	87
事業構造改善引当金	247	24
その他の引当金	367	366
資産除去債務	9	647
その他	14,743	14,289
流動負債合計	162,157	165,460
固定負債		
長期借入金	37,525	31,674
リース債務	5,667	7,676
繰延税金負債	4,285	6,912
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
株式給付信託引当金	538	582
長期商品保証引当金	88	121
役員退職慰労引当金	4	4
賃借契約損失引当金	87	-
その他の引当金	23	23
退職給付に係る負債	6,894	6,135
資産除去債務	1,079	494
その他	2,199	2,227
固定負債合計	62,009	59,467
負債合計	224,166	224,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,245
利益剰余金	81,520	88,465
自己株式	△248	△1,584
株主資本合計	98,517	104,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,464	17,820
繰延ヘッジ損益	△9	△74
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	10,638	18,290
退職給付に係る調整累計額	992	746
その他の包括利益累計額合計	31,275	44,974
非支配株主持分	1,956	2,234
純資産合計	131,748	151,334
負債純資産合計	355,915	376,262

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	260,504	276,807
売上原価	148,706	154,120
売上総利益	111,798	122,686
販売費及び一般管理費	100,564	107,948
営業利益	11,233	14,737
営業外収益		
受取利息	199	392
受取配当金	771	961
持分法による投資利益	1,224	1,389
その他	858	1,521
営業外収益合計	3,053	4,264
営業外費用		
支払利息	1,139	1,350
その他	1,980	1,757
営業外費用合計	3,119	3,107
経常利益	11,167	15,894
特別利益		
固定資産売却益	228	1,230
投資有価証券売却益	-	139
事業構造改善引当金戻入額	-	106
受取保険金	-	100
特別利益合計	228	1,575
特別損失		
事業構造改善費用	968	1,089
減損損失	-	806
情報セキュリティ対策費	-	450
投資有価証券売却損	548	-
代理店契約解約損	147	-
感染症拡大に伴う損失	90	-
特別損失合計	1,753	2,346
税金等調整前当期純利益	9,642	15,123
法人税、住民税及び事業税	2,995	4,890
法人税等調整額	1,350	△104
法人税等合計	4,346	4,785
当期純利益	5,295	10,338
非支配株主に帰属する当期純利益	267	286
親会社株主に帰属する当期純利益	5,028	10,051

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	5,295	10,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	403	6,341
繰延ヘッジ損益	321	△64
為替換算調整勘定	4,048	7,406
退職給付に係る調整額	1,020	△538
持分法適用会社に対する持分相当額	1,487	676
その他の包括利益合計	7,280	13,820
包括利益	12,576	24,158
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,264	23,750
非支配株主に係る包括利益	311	408

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	7,245	79,075	△292	96,028
当期変動額					
剰余金の配当			△2,583		△2,583
親会社株主に帰属する当期純利益			5,028		5,028
自己株式の取得				△0	△0
株式給付信託による自己株式の処分				44	44
その他				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	2,444	44	2,488
当期末残高	10,000	7,245	81,520	△248	98,517

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,942	△331	8,190	5,116	120	24,038	1,557	121,624
当期変動額								
剰余金の配当								△2,583
親会社株主に帰属する当期純利益								5,028
自己株式の取得								△0
株式給付信託による自己株式の処分								44
その他								△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	521	321	-	5,521	871	7,236	398	7,635
当期変動額合計	521	321	-	5,521	871	7,236	398	10,124
当期末残高	11,464	△9	8,190	10,638	992	31,275	1,956	131,748

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	7,245	81,520	△248	98,517
当期変動額					
剰余金の配当			△3,100		△3,100
親会社株主に帰属する当期純利益			10,051		10,051
自己株式の取得				△2	△2
株式給付信託による自己株式の取得				△1,418	△1,418
株式給付信託による自己株式の処分				84	84
連結範囲の変動			△4		△4
その他			△0	0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	6,945	△1,336	5,608
当期末残高	10,000	7,245	88,465	△1,584	104,126

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,464	△9	8,190	10,638	992	31,275	1,956	131,748
当期変動額								
剰余金の配当								△3,100
親会社株主に帰属する当期純利益								10,051
自己株式の取得								△2
株式給付信託による自己株式の取得								△1,418
株式給付信託による自己株式の処分								84
連結範囲の変動								△4
その他								△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,356	△64	-	7,652	△245	13,698	278	13,977
当期変動額合計	6,356	△64	-	7,652	△245	13,698	278	19,586
当期末残高	17,820	△74	8,190	18,290	746	44,974	2,234	151,334

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,642	15,123
減価償却費	12,359	13,301
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	28
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△865	△830
受取利息及び受取配当金	△970	△1,353
支払利息	1,139	1,350
為替差損益 (△は益)	18	△187
持分法による投資損益 (△は益)	△1,224	△1,389
減損損失	-	806
投資有価証券売却損益 (△は益)	548	△139
固定資産売却損益 (△は益)	△228	△1,230
固定資産除却損	270	650
売上債権の増減額 (△は増加)	688	△4,276
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,235	3,708
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,399	3,899
その他	2,296	5,142
小計	12,025	34,605
利息及び配当金の受取額	971	1,353
持分法適用会社からの配当金の受取額	232	241
利息の支払額	△1,133	△1,360
法人税等の支払額	△2,834	△2,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,261	32,726
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,182	△11,023
有形固定資産の売却による収入	269	1,661
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	513	191
貸付けによる支出	△1,013	△588
貸付金の回収による収入	733	716
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,428	△2,466
その他	△2,427	△3,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,535	△15,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,408,747	1,466,028
短期借入金の返済による支出	△1,400,675	△1,475,464
長期借入れによる収入	32,800	17,691
長期借入金の返済による支出	△25,629	△23,941
自己株式の取得による支出	△0	△1,421
リース債務の返済による支出	△1,895	△2,381
配当金の支払額	△2,583	△3,100
その他	△197	△429
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,564	△23,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,180	1,860
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,470	△3,526
現金及び現金同等物の期首残高	30,738	36,209
現金及び現金同等物の期末残高	36,209	32,683

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、提供するソリューションを基準とした3つの戦略ドメイン（エモーショナルバリューソリューションドメイン、デバイスソリューションドメイン、システムソリューションドメイン）を設定し、ドメインごとの戦略を策定し、推進しております。

したがって、当社は、戦略ドメインが提供するソリューションを基準とした「エモーショナルバリューソリューション事業」、「デバイスソリューション事業」及び「システムソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品及び商品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要な製品及び商品
エモーショナルバリューソリューション事業	ウォッチ、ウォッチムーブメント、クロック、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計
デバイスソリューション事業	電池・材料、水晶振動子、精密部品、プリンタ、水晶発振器用IC
システムソリューション事業	デジタルトラストソリューション、ネットワークソリューション、ITマネジメントソリューション、IoTソリューション、無線ネットワークソリューション、カスタマーエクスペリエンス（CX）ソリューション、キャッシュレスソリューション
その他	シェアードサービス、不動産賃貸 他

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用した会計処理の原則及び手続と概ね同一であります。セグメント間の取引価格は主として外部取引価格に準じております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーション事 業	デバイスソ リューション 事業	システムソ リューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	167,742	58,428	33,554	259,726	367	260,093	411	260,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,053	6,101	3,071	12,226	741	12,968	△12,968	—
計	170,795	64,530	36,626	271,952	1,109	273,061	△12,557	260,504
セグメント利益	11,575	5,059	4,367	21,002	171	21,173	△9,940	11,233
セグメント資産	143,181	82,714	29,747	255,642	23,605	279,248	76,667	355,915

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額411百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△9,940百万円には、のれんの償却額△566百万円、セグメント間取引消去等△522百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,851百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
- (3) セグメント資産の調整額76,667百万円には、報告セグメント間の債権の相殺消去△81,055百万円、各セグメントに配分していない全社資産212,305百万円及び投資と資本の相殺消去等△54,582百万円が含まれております。全社資産は、本社部門での余資運用資金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバリュ ーション事 業	デバイスソ リューション 事業	システムソ リューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	185,409	53,239	37,312	275,961	381	276,342	464	276,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,942	5,156	3,142	11,241	824	12,066	△12,066	—
計	188,351	58,396	40,454	287,202	1,206	288,409	△11,602	276,807
セグメント利益	17,262	2,117	4,715	24,095	219	24,314	△9,577	14,737
セグメント資産	156,437	81,911	36,119	274,468	24,527	298,996	77,266	376,262

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高の調整額464百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティー収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△9,577百万円には、のれんの償却額△566百万円、セグメント間取引消去等△482百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,528百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
- (3) セグメント資産の調整額77,266百万円には、報告セグメント間の債権の相殺消去△81,458百万円、各セグメントに配分していない全社資産213,233百万円及び投資と資本の相殺消去等△54,508百万円が含まれております。全社資産は、本社部門での余資運用資金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,657円61銭
1株当たり当期純利益	244円33銭

(注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(当連結会計年度185千株)。また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(当連結会計年度557千株)。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	151,334
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,234
(うち非支配株主持分(百万円))	(2,234)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	149,100
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	40,764

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	10,051
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	10,051
普通株式の期中平均株式数(千株)	41,136

(重要な後発事象)

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。